

許すな！憲法改悪・消費税増税 守ろう！くらし・労働法制 なくそう！戦争法・原発 変えよう！国民本位の政治へ



広瀬議長のおいさつ

安倍首相の臨時国会での所信表明演説は、森友問題も、加計学園問題も一切触れませんでした。今度の解散総選挙で税金が約620億円も使われました。板橋を中心とする東京11区では、残念ながら市民と野党の共同で候補者の一本化ができなかったこと非常に残念に思います。次に、消費税では、経営者4団体のトップが安倍首相と会談し、「消費税10%増税の確実な実施と社会保障の削減」を提言。他方では輸出大企業は消費税の還付金で8300億円の恩恵を受けています。政党助成金問題では、年間総額313億6200万円が共産党以外の政党に配られています。この財源は全部国民が納めた税金です。なぜ、支持もしていない政党に税金から回るのでしょうか。こんな制度は今すぐ廃止すべきです。また、板橋区議会では、「保育園の保育料を値上げする条例案」を賛成多数で可決決定しました。もう一つは、「国民健康保険料の均等割額の軽減を求める陳情」を不採択にしました。いずれも自民・公明・民進が行いました。もう一つは、「国民健康

代議員の発言主旨

飛鳥労組板橋支部

鷲 重則 さん



「ハイタク業界の現状」

オリンピックに合わせて国際料金基準というごまかしで初乗り運賃を下げた。環七より外側のローカルでは初乗り運賃の値下げで売上げが下がるので都心で仕事をせよと業務命令によりローカルではタクシーがつかまりにくくなった。飛鳥交通は、東京無線グループから日本交通グループに移動した。60〜70名が辞めていったが、組織拡大を頑張っている。私達は歩合給だが、今労働時間を基本とする賃金体系に移行しようという話が出ている。ぜひタクシーを利用して下さい。

都庁職養育院支部

河原崎 利行 さん



「養育院支部の現状」

72年の歴史を刻んできた。しかし行革リストラや民間委託病院の運営形態変更など医療改革で2000人組合員から300人切る状況。板橋ナーシングホームに続いて、東村山ナーシングホームも来年3月に廃止され、11月24日に行われる第80大会で衛生局支部と合流し、72年の歴史に幕を閉じる。

橋東京土建板橋支部

山本 清志 さん



「秋の拡大現況と今後の取り組み」

板橋支部として組織拡大を進めて秋の拡大に

グリーンキャブ労組赤羽支部

高橋 健一 さん



「乗務員の高齢化に伴う労働環境の変化」

都内平均60歳に近づいており、65歳定年となっている。それ以上は嘱託となり20%の割合で乗務しており、他社は80歳でも働いている。高齢化は身体の異変・病気になる確立が高い。24時間勤務は過酷であり、ガンや心臓・脳疾患など致命的な病気になりやすい。今多いのは無呼吸症候群で十分な睡眠がとれず居眠りによって追突事故が増えている。この検診はバス・トラック・電車の乗務員で義務付けられているが、ハイタク業界で義務付けられ重症と診断されることは不安であり問題視している。

討論のまとめ 船木事務局長



「12人の方から議案を補強する発言を頂きました。『許すな！憲法改悪・消費税増税 守ろう！くらし・労働法制 なくそう！戦争法・原発 変えよう！国民本位の政治へ』のスローガンに呼応した発言でした。この路線で、第66期の区労働運動を進めていきたいと考えます。と、多くの参加組合や産別と手を結んで、引き続き運動と組織強化への決意を表明しました。」

11月19日（日）、板橋区労働第66回定期大会が板橋区立文化会館大会議室において「許すな！憲法改悪・消費税増税 守ろう！くらし・労働法制 なくそう！戦争法・原発 変えよう！国民本位の政治へ」のスローガンのもと、代議員27組合66名、来賓・傍聴・オブ加盟組合・役員を含め総勢95名で成功しました。来賓を代表して、東京地評 柴田和啓副議長、城北法律事務所 阿部哲二弁護士、日本共産党板橋区議団 吉田豊明区議から連帯と激励の挨拶を受けました。続いて、船木事務局長より規約改正案の提案、共同闘争をはじめとした、この一年間の闘い・私たちをめぐる情勢の特徴・運動の基調・基本的要求・課題での取り組みなどの一号議案。平賀会計より決算・予算案が提案され午後からの討論を呼びかけました。午後は、JAL不当解雇撤回裁判原告団 宍戸・中田事務局次長、DNPファイブイン解雇・二重偽装請負争議原告 橋場さんから訴えの後、12名の代議員が討論に参加しました。

都教組板橋支部

高野 毅 さん



「2020年実施されるようとする学習指導要領の危険性」

2020年実施の学習指導要領を重視しているが、これは教師の教育活動を拘束する法的拘束力の強いものである。実施しようとしている文科省・教育委員会、御用学者、管理職とそれに不満を抱えている民主的教師・研究者との対立だが、多くの保護者・地域の皆さんに伝わっていない。社会の教科書で領土問題・自衛隊の活躍を明記するなど戦後最悪の学習要領であり、区民に広く周知していく。

東京公務公共一般板橋支部

中山 早苗 さん



「支部の現状」

昨年11月に非常勤栄養士・保育士の賃金時間単価2000円を求めスト。改善されずストライキを決定して再交渉、結果、月額825円の賃上げを勝ち取った。社協の社会保障指導員は、夜間勤務が増えているが、調査した結果23区で一番低い賃金。改善させていくよう頑張る。

板橋区職労保育園分会

伊東 邦子 さん



「板橋区立保育園の現状運動報告」

保育園でも指針が来年度改正され、日の丸が押し付けられてくる。板橋区の民間保育園で突然死があったが、0歳児は5分に1回、1歳児は10分間に1回の安全確認チェックを行っている。その間、休憩や事務をするが人員が少ない。私達が厳しければ

子どもの豊かな成長を守れない。公立保育園が疲弊すると板橋全体の保育が守れないので頑張っていく。

年金者組合板橋支部

浅沼 秀行 さん



「年金者を取り巻く情勢と活動について」

今は65歳から年金がもらえるが、政府は68〜70歳にしようとしている。そこまで頑張らなければならないか？社会保障政策改悪と闘っている。年金は物価スライドだったが、今はマクロスライドで下げ続けられている。今は消費税もあり、年金を少なくし税金が高くなり生活が苦しくなる。国民は怒らなさいいけない。皆を組織して大きな運動をつくっていく。

グリーンキャブ労組赤羽支部

佐藤 英夫 さん



「最低賃金デモについて」

事務所が新宿労連と同じ場所にあるので新宿デモもしている。毎月一回新宿で最賃デモ行っているが、若い人達がデモ飛び入り参加。エキタスという団体が15000円で働きたい声をツイッターで700人集めてデモ行進して凄いい。サウンドカーで賑やかにアピールしている。我々は古典的なアピールだが、これからの運動に活かしていきたいかなければ。

東京民医労病体生理研究所支部

可知 進也 さん



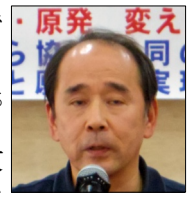
「支部の賃金闘争について」

病体生理研究所は、血液検査専門の事業所であり、この一年

は東京民医連との闘いの年だった。民医連加盟といっても独立した事業所である。昨年の秋に経営者からまさかの一時金0.2ヶ月引き下げ提案を受けた。団交にはストライキを構える通告し、40名近い組合員と民医連の応援を受けて団体交渉に臨んで提案を撤回させ前年実績に戻させた。今、退職金引き下げ提案を受けているので攻撃を跳ね返して頑張る。安倍政権下で医療福祉削減計画を許している限り医療攻撃を跳ね返していかない。医療福祉、国民生活を両輪に据えて頑張る。

JMITUユニオン光学支部

田中 慎滋 さん



「終わりのない再建闘争」

8年前に倒産した会社だがJMITU・区労連の皆さんのお陰で再建することができた。組合が立ち上げた会社である。しかし、休日を決めるにあたり組合要求は旧ユニオン光学で勝ち取った9連休を要求してきたが、来年は稼働率がさがるので7連休にしようと言ってきた。場合によっては皆さんの力を借りたので宜しく。

JMITU北部地域支部

岡崎 巖 さん



「60歳定年後再雇用労働条件の向上をめざして」

JMITUは組合員が高齢化していることから定年後の賃金に精力的に取り組み、その実績をかわれて、あすなる保育園の定年後の再雇用問題に区労連要請に基づいて関わってきた。法律的には60歳定年後は手を挙げれば65歳まで義務付けられている。定年をなくす・

私たち板橋区労連は、去る一月一九日に第66回定期大会を開催し、「許すな！憲法改悪・消費税増税 守ろう！くらし・労働法制 なくそう！戦争法・原発 変えよう！国民本位の政治へ」のスローガンのもと、引き続き労働運動の前進めざす方針を決定し、一年間の新役員を選出しました。これからも広範な労働者・労働組合・区内外の多くの団体と協力・共同を広げて要求実現をめざす地域運動に全力で奮闘する決意です。今後ともより一層のご指導・ご協力をお願い致します。

議長	廣瀬 憲義	再	板橋区職労
副議長	野呂 和男	再	自交総連飛鳥労組赤羽支部
	渡部 昌彦	再	都教組板橋支部
	福地 孝志	再	東京土建板橋支部
	船木 義弘	再	東京民医労病体生理研究所支部
事務局次長	藤本 裕子	再	事務局(専従)
常任幹事	平賀 三枝子	再	東京公務公共一般板橋支部
	村木 正弘	再	板橋区職労
	池田 新一	再	東崎中小企業労組
	梅田 裕一	再	自交総連グリーンキャブ労組赤羽支部
	今村 礼子	再	全労協・全国一般あすなる保育園労組
	峯田 政美	再	年金者組合板橋支部
	宮崎理恵子	再	福祉保育労組板橋支部
	森 千恵子	再	東京土建板橋支部
	内田 順子	新	東京公務公共一般板橋支部
	福谷 英昭	再	建交労豊島運送支部
	鷺 重則	再	自交総連飛鳥労組板橋支部
	岸田 正勝	再	自交総連大和自動車王子労組
	藤枝 延宏	再	JMITUユニオン光学支部
	岡田 仁	新	荒馬座労組
	浦部 智直	新	東京民医労健康文化会医療支部
	嶋田 陽介	新	建交労豊島運送支部舟渡分会
	未定	新	都教組板橋支部
	未定	新	東京清掃労組
会計監査	佐藤 英夫	再	自交総連グリーンキャブ労組赤羽支部
	松田 郁夫	新	JMITUユニオン光学支部

定年延長・嘱託再雇用の3つが一般的だが、8割りかたが嘱託再雇用。しかし、生産労働人口が下がる中で将来的に中小企業は定年延長していかねばならない。企業は成り立たなくなる。あすなる保育園では、時給1200円、ボーナス0円、60歳時の年収の34%。ベテランは同じ仕事をした

うえで、若手保育士を指導しているがそのことは評価しない。雇用契約を優先して、その上で定年65歳や一時金の要求をしていく。

産業界・職種別運動の交流をして、横の繋がりを活かして、社会的な運動を行っていく。